

⑱ 公開特許公報 (A)

昭63-301111

⑲ Int.Cl.⁴
B 60 C 27/02識別記号
厅内整理番号
7634-3D

⑳ 公開 昭和63年(1988)12月8日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

㉑ 発明の名称 車輪タイヤにおける滑り止めシート

㉒ 特願 昭62-136398

㉓ 出願 昭62(1987)5月30日

㉔ 発明者 渡部	公正	岩手県花巻市高松第1地割9番地
㉕ 発明者 阿部	俊廣	岩手県花巻市石神町10番地5
㉖ 出願人 渡部	公正	岩手県花巻市高松第1地割9番地
㉗ 出願人 阿部	俊廣	岩手県花巻市石神町10番地5
㉘ 代理人 弁理士 中畠	孝	

明細書

1 発明の名称

車輪タイヤにおける滑り止めシート

2 特許請求の範囲

(1) 可撓性を有するシート表面に摩擦面を保有させると共に、同裏面に接着面を保有させ、該接着面を以って車輪タイヤ接地面に貼付する構成としたことを特徴とする車輪タイヤにおける滑り止めシート。

(2) 上記シート表面に摩擦粒子を付着させて上記摩擦面を形成したことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の車輪タイヤにおける滑り止めシート。

(3) 上記シート表面に網材を付着して上記摩擦面としたことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の車輪タイヤにおける滑り止めシート。

3 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は凍結路面や雨雪路面等の走行、脱出等に使用される車輪タイヤにおける滑り止めシ

ート、特に車輪タイヤ接地面に貼付して使用し得るようとした滑り止めシートに関する。

従来技術

凍結路面や雨雪路面等の車両走行時におけるタイヤ滑り止め手段として、スパイクピンを打込んだスパイクタイヤや、必要時にタイヤへ着脱できるようとしたタイヤチェーン等の類が知られている。

発明が解決しようとする問題点

然しながら、前者のスパイクタイヤにおいては凍結路面等のスリップ防止効果が大である反面、一旦スパイクタイヤを装着すると、路面が凍結していない走行時においても路面を損傷する欠点があり粉塵公害等の原因となり、随時タイヤへ着脱して使用できない欠点がある。

又後者のタイヤに着脱するチェーン等の類は、着脱は可能であるものの、總じて装着が繁雑で高重量、高価なる欠点があり、軽便性に欠ける。

問題点を解決するための手段

本発明は上記実情に鑑みなされたものであつ

て、タイヤ滑り止め手段として、可撓性を有するシート表面に摩擦面を保有させると共に、同裏面に接着面を保有させ、該接着面を以って車輪タイヤ接地面に簡便に貼付して使用できるようにした車輪タイヤにおける滑り止めシートを提供するものである。

作用

本発明によれば滑り止めシートをタイヤ接地面に貼付するのみで凍結路面や雨雪路面に迅速に対応でき、タイヤへの装着が頗る簡便である。又必要時には剥離し除去することも可能である。

又シート体であるから、走行感を悪化せず、走行時においては滑り止めシートに引離し方向の力は殆ど加わらず、タイヤ周面方向への引張力と垂直荷重が加わるのみであるから、接着面積を広くし或は接着面をタイヤ周面方向に充分に長くする等してタイヤ表面に強固に密着捕持させることができる。又シート体であるから、テープ状等外形を任意に設定できる等、製作が非常に容易で且つ安価である。

端部となる端部表面には摩擦粒子を付着させずに導入端部7を形成し、該導入端部の端面を傾面8とする。

又上記接着面5は上記の如く接着テープを用いる他、シート裏面に常粘性接着剤を塗布し、剥離テープで覆うようにしても良い。

斯くて形成された滑り止めシートを可撓性シート1の可撓性を利用してタイヤ接地面9に順応させつつ、接着面5を構成する接着テープ4を以って同タイヤ接地面9に貼付する。

これによってタイヤ接地面9にスパイク効果を具備させるものである。

更に他例として第4図は、上記可撓性シート1の表面に金属性の網材10を上記成形等の手段にて付着させ摩擦面3としている。

その他上記摩擦面3として鋸歯状等のスパイク効果を有する多数のリブや突起等の凹凸を形成することも可能である。

尚、上記各実施例におけるプラスチック製シートに代えゴムシート等の他の基材を可撓性シ

実施例

図面は上記に基いて具体化された本発明の実施例を掲げる。

一実施例として第1図乃至第3図に示すように、タイヤ接地面へ貼付するための基材として可撓性を有するプラスチック製のシート1を形成し、該可撓性シート1を図示のようにテープ状にし、該テープ状可撓性シート1の表面に摩擦粒子2を付着させて摩擦面3を形成すると共に、裏面に剥離テープ6で被覆された両面接着テープ4を貼付して接着面5とする。

上記摩擦粒子2としては研磨剤や砥粒等として用いられる金剛砂やカーボランダム等を適用する。該摩擦粒子2は上記可撓性シート1の表面に接着剤を介して固着するか、又は図示のようにプラスチック成形時にプラスチック母材表面に部分埋没させて固着しシート表面より露出した状態とする。この場合摩擦粒子2をシート表面の全面に付着させるか、又は図示のように可撓性シート1の両端即ち、タイヤ回転時における始端及び終

端として用いても良い。

発明の効果

本発明は以上説明したように、滑り止めシートをタイヤ接地面に貼付するのみで直ちにタイヤ接地面にスパイク効果を具備させることができ、凍結路面や雨雪路面に迅速に対応でき頗る簡便性に富む長所がある。又単に貼付するのみであるから、タイヤへの装着が極めて簡便なる利点があり、必要時には剥離し除去することも可能である。

又シート体であるから、車輪走行感を悪化せず、走行時においては滑り止めシートに引離し方向の力は殆ど加わらず、タイヤ周面方向への引張力と垂直荷重が加わるのみであるから、接着面積を広くし或は接着面がタイヤ周面方向に充分に長くなるようにテープ化する等してタイヤ表面に強固に密着捕持させができる。又シート体であるから、テープ状等外形を任意に形成でき、製作が非常に容易で且つ安価に提供できる利点がある。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す滑り止めシートの斜視図、第2図は同断面図、第3図は車輪タイヤへの貼付状態を示す同シート斜視図、第4図は他例を示す滑り止めシート斜視図である。

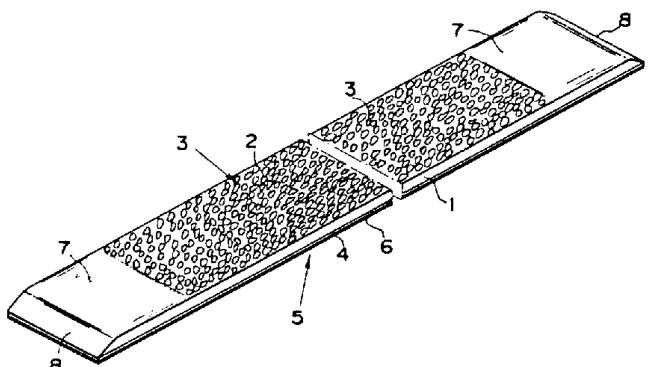
1…可撓性シート、2…摩擦粒子、3…摩擦面、4…接着テープ、5…接着面、6…剥離テープ、7…導入部、8…傾面、9…タイヤ接地面、10…網材。

特許出願人 渡部公正

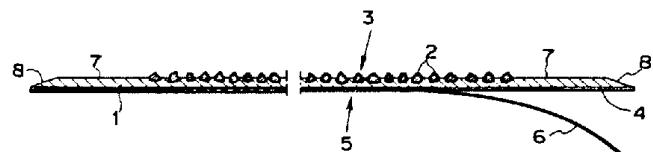
同 阿部俊廣

代理人 弁理士 中畑孝

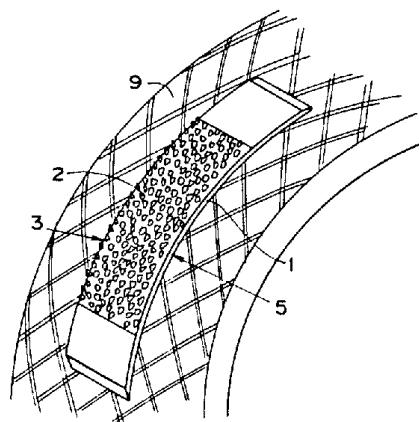
第1図



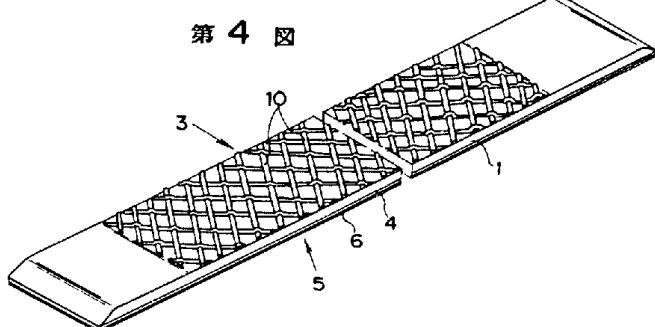
第2図



第3図



第4図



PAT-NO: JP363301111A
DOCUMENT- JP 63301111 A
IDENTIFIER:
TITLE: ANTISKID SHEET IN
VEHICLE TYRE
PUBN-DATE: December 8, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
WATABE, KIMIMASA	
ABE, TOSHIHIRO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
WATABE KIMIMASA	N/A
ABE TOSHIHIRO	N/A

APPL-NO: JP62136398

APPL-DATE: May 30, 1987

INT-CL (IPC): B60C027/02

US-CL-CURRENT: 152/185.1

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain antiskid effect of a tyre simply and securely by forming a friction surface on the surface of a sheet with flexibility and as well an adhesive face on the rear face respectively so as to stick the adhesive face on the ground plane of the tyre.

CONSTITUTION: A plastic-made sheet 1 with flexibility is prepared serving as a base material attached to the ground plane of a tyre. Friction grains 2 or the like are made to adhere to the surface of the sheet 1 so to form a friction surface 3, and as well an adhesive double coated tape 4 covered by a peel tape 6 is sticked on the rear face so as to form an adhesive face 5. In the antiskid sheet 1 formed in this way, the adhesive face 5 of the rear face is sticked on the ground plane of the tyre through the adhesive double coated tape 4. With this arrangement, the antiskid effect can be obtained simply and securely by means of sticking the antiskid sheet 1 on the ground plane of the tyre. In addition, when antiskid is unnecessary, the antiskid sheet 1 can be removed simply.

COPYRIGHT: (C) 1988, JPO&Japio